

2019年度運動方針、予算を決定



2019年7月13日(土) 於：台東区民会館(浅草)

代議員は合計59人。その他に中央執行委員15人、会計監査委員長1人、選管委員長1人、書記・傍聴等11人、総計87人が出席。

2019年7月13日に、台東区民会館(東京・浅草)で、第52回定期大会を開催しました。加盟105単組のうち、大学・共同利用機関の76単組76人、高専協議会(23単組)2人の代議員を招集し、59人の代議員が出席。運動方針案、決算案、予算案等を審議・決定しました。また、定時役員選挙を実施し、2019年度から2年間の役員体制を決定しました。

全大教新聞

2019年 8月10日

第362号

【発行所】

全国大学高専教職員組合
(略称：全大教)



【PDF版(全面カラー)】
http://zendaikyoo.or.jp/?page_id=107

【電話】03-6802-4250

【HP】<http://zendaikyoo.or.jp/>

【所在地】〒110-0012
東京都台東区竜泉
2-20-15 都築ビル2階

* 組合員の購読料は
組合費に含まれて
います(一部30円)

今月の紙面

2 第52回全大教定期大会報告
2 新執行部の紹介
2 退任のご挨拶(中富公一 前中央執行委員長)
3 論壇「静岡大学・浜松医科大学の
アンブレラ方式について」
静岡大学学術院人文社会科学領域 教授
川瀬 憲子

3 職場のQ&A(5) 過半数代表について
4 単組からのレポート
4 司前商船高専
「海事職員からの要望を聞いて」
大分大学
「共感を生み出す取り組みを」
わたしむこと

第52回全大教定期大会開催

新規に2つの加盟組合

第1号議案として、北九州高専、神戸市看護大学のふたつの組合の加入が提案

され、大きな拍手をもって承認されました。

2019年度の運動方針

中央執行委員会から、2019年度運動方針案の提案がありました。

「大学・高等教育の充実に向けて」は、

- ① 高等教育予算の「選択と集中」に反対し、抜本的な拡充を求める
- ② 一法人複数大学方式など、政府による一方的な高等教育再編や地方大学切り捨てを許さない
- ③ 教員身分を不安定化させない
- ④ 奨学金制度の抜本的な拡充、「教育を受ける権利」を実現する
- ⑤ 民主的で公正な大学運営の実現と、法人の自主的な人事制度確立
- ⑥ 高等教育問題に関する広範な当事者との連携

「賃金・労働条件を守り改善する」については、

- ① 有期雇用教職員の雇止め撤廃、無期雇用化促進
- ② 賃金改善
- ③ 同一労働同一賃金、待遇格差解消
- ④ 長時間労働の是正、ワークライフバランスの確立等、職場環境改善
- ⑤ 「新たな年俸制」など「人事給与マネジメント改革」に対抗する
- ⑥ 団体交渉・労使関係の充実

また、2012年度から全国的に継続してきた臨時賃下げに対する未払い賃金

大学・高等教育の充実、賃金労働条件の改善を

請求訴訟の全国運動の、11の訴訟全てが2018年度中に終結し、すべて敗訴で終わったと報告され、新年度にその総括を行うこと、平和・人権・民主主義に関する取り組みを行っていくこと、などが提案されました。

質疑・討論では、病院医師の働き方の問題、公立大学の法人統合・大学統合の問題、政府の「骨太の方針2019」に学長選考の意向投票を廃止するとの文言が盛り込まれている問題、等について、質問と中央執行委員会の取り組み強化を求める意見が出されました。また、有期雇用職員の無期転換問題や、教員に裁量労働制が適用される中での働き方改革で求められている労働時間把握の運用について、各大学における状況の報告と経験の交流や、中央執行委員会への取り組みの要望が出されました。

運動方針案に対しては、賃金・労働条件の改善についての単組での成果を盛り込む補強を行う修正案(山口大)と、内閣人事局の設置に始まり行政が私物化されているのではないかと

う情勢認識に関わって、該当部分の削除を求める修正案(高エネ研)が出され、前者は中央執行委員会が受け入れ、後者は採決となり、

予算・決算と全大教の中長期組織運営

2018年度は赤字決算でした。質疑でその理由について質問がありました。2018年度は隔年開催の教研集会を実施した年で、2年間でバランスする予算構造のなかではほぼ予定通りでした。

2019年度予算は教研集会を開催しない年で黒字決算をめざし、かつ年度を通してできる限りの縮減に

役員選挙で新体制を決定

四役・中央執行委員16人と、会計監査委員3人の役員選挙が行われました。

その結果、立候補者すべてが信任され、新しい体制が決定しました。

また、選挙管理委員の候補全員が承認されました。その他、事務所移転に伴い、規約に定めた事務所の所在を書き換えるための「規約改正」や2018年度に行った「争訟支援」(福教大、電通大、和歌山大)、「納

大会終了後、退任する役員を代表し、中富公一中央執行委員長が花束贈呈を受け、その後新役員が壇上で並び、選出された鳥畑与一

新中央執行委員長(静岡大)から、力強い決意表明の挨拶がありました(写真)。
(中央執行委員長 長山泰秀)

入人員の確定」についても提案され、すべて承認されました。